

拝啓、諏訪大神さま

お久しぶりですね。

あれからもう一五〇年。

この秋にはようやく

諏訪大社へおうかがいできます。

敬具 普賢菩薩

諏訪大社の

神さまと仏さまが、

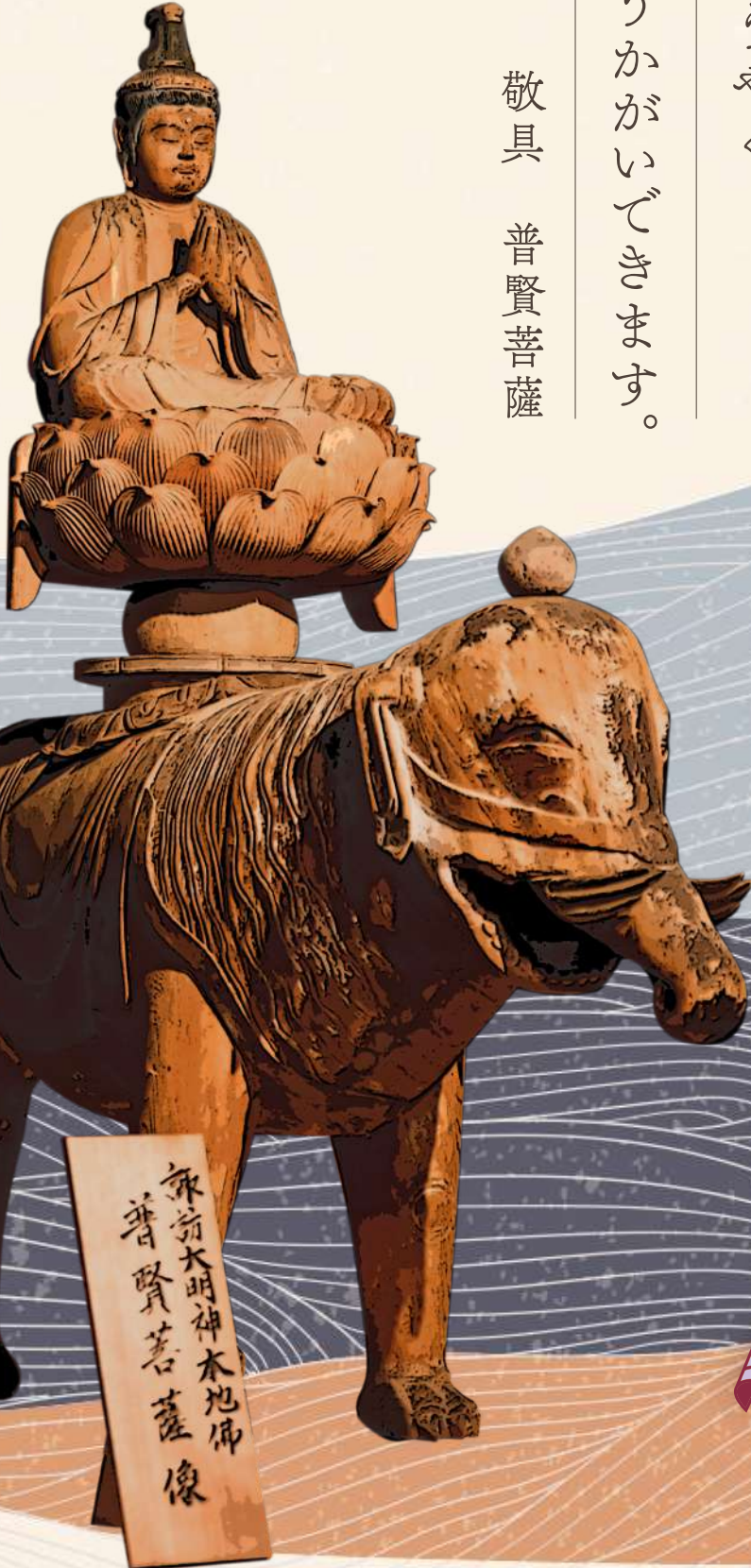
一五〇年ぶりに再会

諏訪大社に祀られていた仏像が、明治時代の神仏分離政策によつて散り散りになってから約一五〇

年。以来、一部の仏さまは諏訪地域のお寺で大事に守られてきま

した。そんな諏訪大社ゆかりの仏さまを一斉に公開。一五〇年

ぶりの神さまと仏さまの再会が実現します。



SUWASHA

信濃國一之宮 諏訪上下社
諏訪神仏
プロジェクト
神宮寺由来仏像一斉公開

諏訪信仰と仏たち

令和4年(2022年)秋 諏訪地域の各寺社で一斉公開

諏訪大社の神さまと仏さまが150年ぶりに再会

国内最古の神社のひとつとされる諏訪大社。そこに起こった信仰は、諏訪の地に根づき、全国に広まっています。

わが国古来の信仰は自然信仰に根ざしたのですが、時代の流れの中でさまざまに姿を変えてきました。

特に飛鳥時代に伝来した仏教からは大きな影響を受けました。神社、寺院の双方が確立していく過程で、古代から中世にかけて神さまと仏さまを一体のものとして扱う「神仏習合」の信仰が確立。

諏訪神社でも上社・下社にはそれぞれの神宮寺をはじめ、多くの寺院や僧房が立ち並ぶようになりました。

しかし、明治時代を迎えたとき、新政府の「神仏判然令」が引き金となり、

一体となっていた神仏の信仰は別々の道を歩むこととなります。

諏訪でも鎌倉時代の五重塔をはじめ、貴重なお堂のほとんどが打ちこわされ、多くの仏像は人々の手によって

諏訪地域の各寺院に移されました。1000年に及ぶ文化の礎がわずか150年前に激変を遂げたのです。

このプロジェクトは諏訪の地で育まれた神さまと仏さまが共存したかつての姿を振り返るものです。

周辺寺院で大事に保管されてきた諏訪大社ゆかりの仏像や仏具を一斉に公開。

これまでなかなか調査が進められていなかったものや秘仏とされるものも含め、皆さまにご覧いただき、

かつては当たり前だった神さまと仏さまが同居する世界を振り返ります。

開催期間 令和4年(2022年)10月1日(土)～11月27日(日)

会場 諏訪地域社寺25箇所、諏訪市博物館、下諏訪町立諏訪湖博物館

内容 諏訪社神宮寺由来の仏像等の一斉公開、博物館等における特別公開展の実施



貴重な歴史的文化遺産の調査・研究が行われています

慶応4年(1868年)「神仏判然令」により、日本各地で仏像や仏具が打ちこわされました。しかし、諏訪の地では信徒たちの尽力もあり、仏像や仏具などの仏教美術品が現在も諏訪地域の寺院等に数多く受け継がれています。そのなかには歴史的価値、美術的価値共に高い優品とされる仏像も含まれています。諏訪大社に神仏習合の歴史があったことや、神宮寺由来の仏像等が多数存在していることは一般にあまり知られていませんが、これらは言わば「もうひとつの諏訪信仰」の痕跡を示す貴重な歴史的文化遺産と言えるでしょう。本プロジェクトでは、こうした遺産を公開すると同時に、その歴史に改めて光を当て、現存する仏像等を改めて調査・研究します。諏訪信仰の実態をより深く理解するための意義深い機会になることと思われます。

150年ぶりに神職と僧侶が一堂に会し神前に祈りを捧げます

神さまと仏さまが分離されてから、約150年間。その間、神職と僧侶がいっしょに諏訪の神仏に祈りを捧げることは行われてきませんでした。今年2022年秋、明治時代以降初めて諏訪大社の境内に神仏和合の祈りが響き渡ります。一斉公開を迎える9月30日に諏訪大社上社本宮の神前で、そして一連の公開が終わった11月28日諏訪大社下社秋宮の神前にて、行事の開始と終了を奉告する「奉告祭」を開催いたします。その際、神職による祝詞の奏上と僧侶による大般若経の転読という、神仏習合の時代には神さま、仏さま、そして民衆が目にしたであろう風景がよみがえります。宗教を超え、共に捧げる祈りを皆様もご一緒しませんか。「互いに認め、尊重する」諏訪の祈りは人々の心を通じ、この先の時代を切り開いていきます。



[諏訪神仏プロジェクト]公式サイト

<https://suwa-tabijp/feature/suwa-shinbutsupj/>

お問い合わせ: Mobile: 070-8487-7138 / E-mail: suwashinbutsupj@gmail.com



【参加団体】 仏法紹隆寺、照光寺、高国寺、法華寺、温泉寺、小泉寺、惣持院、真徳寺、真福寺、善光寺、長円寺、昌福寺、平福寺、真秀寺、萬福寺、高栄寺、慈雲寺、長泉寺、法隆寺、手長神社、八剣神社、諏訪大社、諏訪市博物館、下諏訪町立諏訪湖博物館、

スワニズム、(一社)大昔調査会、上社周辺まちづくり協議会、(一財)長野県文化振興事業団信州ミュージアム・ネットワーク事業推進室 *順不同

【協力団体】 公立諏訪東京理科大学三代沢研究室、株式会社地域商社SUWA、合同会社ヤツガタケシゴトニ、エルシーブイ株式会社

【後援】 岡谷市、下諏訪町、諏訪市、茅野市、原村、富士見町、諏訪地方観光連盟、岡谷市観光協会、下諏訪観光協会、下諏訪温泉旅館組合、(一社)諏訪観光協会、

(一社)ちの観光まちづくり推進機構、信濃毎日新聞社、長野日報社 *基幹事業のみ